

2月で止まっ
てしまってい
る教室の
カレンダー

6月に入りました。教室から日本語を学ぶ実習生の姿が見られなくなって既に4ヶ月が過ぎようとしています。このような状況がいつまで続くのか、なかなか出口が見えない状況下ではありますが、4月25日に発表された3度目の緊急態宣言が、更に延長される等の感染防止対策の効果が出始め、ウイルスの拡大は着実に下火になってきています。多くの外国人選手団を受け入れることになる東京オリンピックも、開催に向けた準備が着々と進んでいます。また、日本からベトナムへのワクチン提供が決まる等、外国人技能実習生の入国再開に向けた明るいニュースも入って来ています。もう暫く、辛抱の時が続くと思われませんが、1日でも早く、実習生の皆さんの明るい笑顔が、教室に戻ってくることを願うばかりです。

あじけんスコープ Vol..98

～第4回講師研修会が行われました～

3月以来、月に1度のペースで行ってきた日本語講師研修会も、早いもので今回で第4回目となりました。

今回の研修会では、現在取り組んでいる授業で扱う重要文型の指導の手引きの作成に加えて、清掃指導の充実に向けた指導方法についての検討会を行いました。

検討会では、先ず5つの分科会に分かれて、清掃指導を通して、実習生の皆さんに身に付けて欲しい資質（整理整頓や、丁寧・迅速な清掃の習慣）を確認し合いました。その後、全体会で、それらの資質を高める為の効果的な指導方法について話し合いました。

今回の検討会で出された清掃指導に関する改善案や、新しい指導内容については、次回の授業再開時からの導入を目指し、準備を進めていく予定です。



全体会で、清掃用具の整理整頓指導について意見を出し合う講師陣

今月の実習生 ～番外編～



※写真撮影の為、マスクを外してもらっています。

今月の実習生は、番外編として、当校が定期的に関校している合宿型の介護福祉士国家試験合格対策講座に、この4月から受講を始めた EPA 介護福祉士候補生インドネシア出身の DESPIANA PURI (プリ) さん、フィリピン出身の候補生、TINIO JOANNA MATUSA (ジョアン) さん、BATULAN GEMA BANGAY (ジェム) さん、BALILI MAY MARIE SANTILLAN (メイ) さん、ILAO MARIA GERIANNE DE GUZMAN (ジーアン) さんです。

彼女達にとって、今年は来日3年目で、来年いよいよ国家試験受験にチャレンジ出来る年。試験は1月下旬予定なので、高齢者施設で働きながら、月1回(5日間)の当校での合宿型講座に参加して、試験合格を目指しています。日本での高齢者介護の経験が豊富で、日本語も堪能な候補生の皆さん、国家試験全員合格目指して、一緒に頑張っていきましょう！

あじけん流日本語授業

～新テキスト採用について～

今月のあじけん流日本語授業は、次回の入国再開時から変更となるテキストについてご紹介いたします。

これまで使用していた3冊のテキストの中の「みんなの日本語初級Ⅱ 翻訳文法解説各国語版」(スリーエーネットワーク)を変更することにいたしました。新しいテキストは、「できる日本語 わたしのことばノート 初級」(凡人社) (写真1)です。以前のテキストは、初級後半の文法事項の理解を進めることが中心のテキストでした。しかし、今までの当校で積み重ねてきた経験を踏まえると、実習生の会話力向上には、難しい文法事項の理解ではなく、やはり語彙力のアップが必要と考え、テキストの変更をするに至りました。

今回採用したテキストは、生活で使用する語彙が中心となっており、実習生の語彙力を伸ばすのに適した教材です。会話力の向上には、やはり語彙の定着が欠かせません。このテキストを使うことで、今まで以上に語彙力を増強することができます。また、翻訳がついていないため、授業中しっかり聞く、自分で調べるといった作業をしなければなりません。イラスト、写真などを多く使っている(写真2、3)、寮に戻って何度でも自分で復習をすることもでき、実習生にとっても、学びが広がるテキストだと考えられます。語彙を覚えた後は、その語彙を使ってクラス活動をしたり、会話練習をすることで、更にその言葉が身に付いていきます。学習後には、まさに日本語が「できる」と実感できるでしょう。

語彙力アップ、そして会話力アップ、また自主学習も進み、教室活動も楽しい。このテキストを使用することで日本語学習がこれまでに以上に進むと期待しています。



写真1：新テキスト表紙

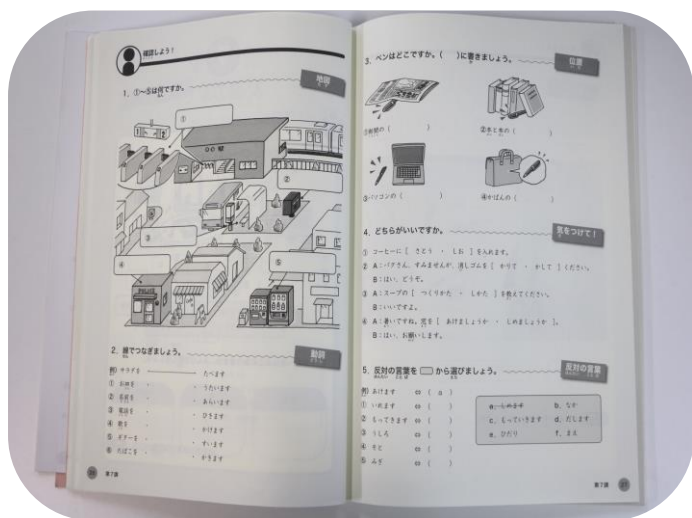


写真2：イラストもわかりやすい

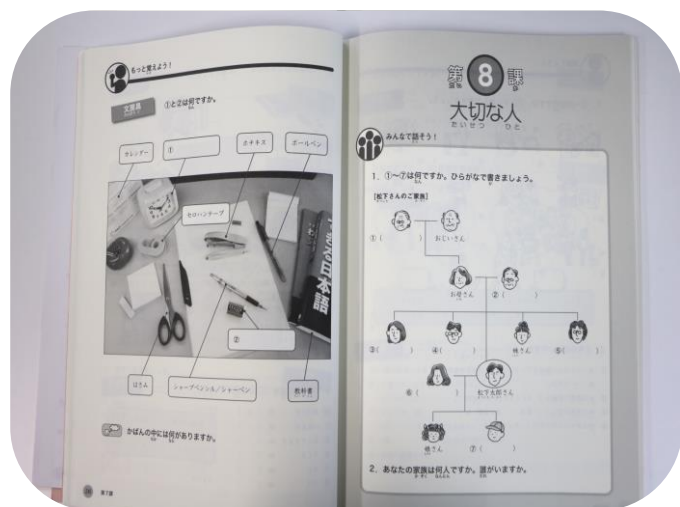


写真3：イラストだけでなく写真も使われています